

2024年2月

学校関係者評価委員会報告書（2023年度）

扇町同胞学園
扇町同胞幼稚園

- 1 開催日時：令和6年（2024年）2月14日（水）
午前10時30分～午前11時30分
- 1 開催場所：大阪市北区神山町9-19
3F
- 1 評価委員数：5名（別紙の通り）
- 1 出席委員：植松光徳 山名恭子 システイアグ江麻 加藤亜弓 酒井万里子
（全員出席）
- 1 学園側出席：奥山研司（理事長） 塩谷和子（園長）
書記：塩谷和子

別紙 2023年度学校評価重点項目について、塩谷和子園長より説明があり、各委員より意見交換がなされた。

記

〈評価内容〉

- 1 園庭・保育室等の健康環境整備について
 - (1) コロナ禍は5月8日で5類となり平常保育に戻ったが、引き続き感染防止に努めながら保育をおこなった。
園児の健康維持ため、日々過ごす保育室を安心した環境を考え、園舎の空調を考慮しながら抗ウイルス対策にも取り組んでいる。
 - (2) 昨年度まで行事や保育内容など、社会においても緩和化し、参観や懇談、親子ともども楽しく取り組める内容を工夫している。
 - (3) 今年度もまた夏に、園庭の砂塵防止の凝固剤（砂遊びに無害）を散布した。砂塵の発生を防ぐほかネコ・イタチの侵入防止にもつながり、できる限り清潔な環境のなか、園児は戸外活動を楽しむことができている。
- 2 教職員の研修について
 - (1) 今年度は対面研修が実施されている。そして今まで実施が難しかったディスカッション研修にも参加しつつある。

それにより教職員が保育の学びを共有し、保育の質の向上と内容の充実に努めることができている。保育内容の充実は子どもたちの健やかな成長に繋げている。

- (2) 今年度より久しぶりにプール活動を実施、それに伴い楽しい取り組みを提案実施している。

4 保育等情報公開について

(1) 今年度は保護者会やクラス懇談会をも実施し、教育のねらいや子どもたちの成長の姿、家庭の協力について無理なく共通理解に繋ぐことができている。

(2) 日常の園児送迎時に、教職員は保護者と保育の現状や園児の体調等について話し合う時間を持つようにしている。

子どもたちの姿を写真だよりやクラス内での写真掲示等を通して、幼稚園での様子を知らせている。

3 防火・安全管理について

(1) 2023年度は消防署や警察署による避難訓練の実施をし、またクラスごとに火災時の避難や地震時の行動等について、定期的に園児が自分の身を守る行動の大切さについて学び、予告なしの訓練も実施している。

(2) 今年度もいつ起こるか分からない災害に備えるため、防火管理・安全管理マニュアルを再確認し、積極的に消防署や警察署による避難訓練を実施した。園児が自分の身を守る行動の大切さについて学んだがこれからも引き続き予告なし訓練をも実施し、とっさに正しい行動ができるよう意識をもって取り組んでいく。

〈 要望 〉

- 保護者への情報ツールとして、日頃スマホなどですぐ確認できるように便利な方法を考えてほしい。
- 園内安全管理面が気になる。特に当園の緊急集合避難場所がわからない。この幼稚園の緊急集合避難場所を保護者全員にわかるように示してほしい。
- 運動会の際、門前での受付防犯ガードが甘い。訓練必要。
- 5歳児童の退園の件、なぜ急に退園したのか、残る保護者側は情報が不確かで曖昧で不安だった。
- 外国籍児が多くなってきているのであれば園からの配布手紙にもルビを打っていったり様々な配慮が園として今後必要ではないかと思う。
- 今年度の年長の保護者役員は引き受ける保護者がなく結局くじ引きで決められ、仕事として負担が多くて大変だった。次年度もくじで役員が決まり、負担が大きくて我々のように大変な思いをしないか心配。今後園側のフォローが必要。